

岡崎市指定管理者第三者評価委員会
令和 7 年度指定管理業務評価結果

道の駅藤川宿

	I 適正性 評価	II 有効性 評価	III 効率・安定性 評価	総合評価
担当課当初評価	適	良	適	A
担当課当初評価に対する委員会評価結果	妥当	甘い	妥当	甘い
担当課最終結果	適	良	適	A

<委員会評価意見概要>

担当課の評価は、甘いと判断する。

1 適正性評価

仕様書、業務水準書及び当初の計画に対して適切で、かつ、きめ細かな業務の実施がされており、適とする評価は妥当である。

2 有効性評価

年度当初に設定した目標が達成されておらず、利用者アンケートが上手く業務に活かされていない実態が見受けられた。評価基準の「目標達成に向けた取組みの実施」、「提案事業の効果的な実施」及び「自主事業の効果的な実施」の項目は、良と評価されているが、適が相当である。

三井アウトレットパーク岡崎のオープンや国道 23 号名豊道路の全面開通といった外的要因による影響を最小限とするよう努力したことは評価に値するが、II の総括を良とする評価は、甘いと言わざるを得ない。

3 効率性・安定性評価

物価高騰による経費増加を最小限に抑えるよう努力した結果は、しっかりと施設経営状況分析シートに数字として表れており、適とする評価は妥当である。

4 総合評価

地域団体との交流イベントを積極的に企画及び実施した努

力は素晴らしいものであるが、目標達成につながっていない点が見受けられる。経営改善に向けた意識は評価できるが、それをもって「特に評価すべき点がある」としてAとする評価は、甘いと言わざるを得ない。

<担当課最終結果の説明>

※ 担当課が当初の評価から変更しない場合にその理由を記載

目標は達成できませんでしたが、産直、軽食コーナー等すべての売り場で目標達成に向けて、地元特産品 PR の吊り看板の設置や、地元野菜を使用し季節に合わせた飲食の提供などを行いました。

また、地元のイベントと協力して道の駅のイベントを開催し、天候には恵まれませんでしたが、道の駅への来場者数を増加させる取組を行う事は基より、地元の特産品であるむらさき麦の畑等への周遊や、商品の販売なども行いました。

また、むらさき麦を使用した商品の新たな開発を指定管理者が実施するなど、地元への貢献も行うとともに、売上アップに取り組んでいただきました。

これらのことから「目標達成に向けた取組み」等の項目については、目標には届かなかったものの、様々な取組みにより、委員会の評価意見にもあるように外的要因による影響を最小限にしたことは、担当課として一定以上の評価に値すると判断し、Ⅱの有効性評価について、「良」とし、総合評価も「A」といたします。